資料1 「書紀」に記された歴代天皇の在位年数と遡及年数

	天　皇	「書紀」に記 された在位 年数　*1, 2	「書紀」に記 された元年 の干支*1, 2	持統末年 から元年 までの遡 及年数	推古九年 から元年 までの遡 及年数	（参考） 元年の西 暦表示 *3	注
第1代	神武　じんむ	76	辛酉	1, 357	1, 260	−660	
	(空位)	3		1, 281	1, 184	−584	*8
2	綏靖　すいぜい	33	庚辰	1, 278	1, 181	−581	
3	安寧　あんねい	38	癸丑	1, 245	1, 148	−548	
4	懿徳　いとく	34	辛卯	1, 207	1, 110	−510	
	(空位)	1		1, 173	1, 076	−476	
5	孝昭　こうしょう	83	丙寅	1, 172	1, 075	−475	
6	孝安　こうあん	102	己丑	1089	992	−392	
7	孝霊　こうれい	76	辛未	987	890	−290	
8	孝元　こうげん	57	丁亥	911	814	−214	
9	開化　かいか	60	甲申	854	757	−157	
10	崇神　すじん	68	甲申	794	697	−97	
11	垂仁　すいにん	99	壬辰	726	629	−29	
12	景行　けいこう	60	辛未	627	530	71	
13	成務　せいむ	60	辛未	567	470	131	
	(空位)	1		507	410	191	
14	仲哀　ちゅうあい	9	壬申	506	409	192	
	神功　じんぐう	69	辛巳	497	400	201	*7
15	応神　おうじん	41	庚寅	428	331	270	
	(空位)	2		387	290	311	*6
16	仁徳　にんとく	87	癸酉	385	288	313	
17	履中　りちゅう	6	庚子	298	201	400	
18	反正　はんぜい	5	丙午	292	195	406	
	(空位)	1		287	190	411	
19	允恭　いんぎょう	42	壬子	286	189	412	
20	安康　あんこう	3	甲午	244	147	454	
12	雄略　ゆうりゃく	23	丁酉	241	144	457	
22	清寧　せいねい	5	庚申	218	121	480	
23	顕宗　けんぞう	3	乙丑	213	116	485	*5
24	仁賢　にんけん	11	戊辰	210	113	488	
25	武烈　ぶれつ	8	己卯	199	102	499	
26	継体　けいたい	25	丁亥	191	94	507	
	(空位)	2		166	69	532	*4
27	安閑　あんかん	2	甲寅	164	67	534	
28	宣化　せんか	4	丙辰	162	65	536	
29	欽明　きんめい	32	庚申	158	61	540	
30	敏達　びだつ	14	壬辰	126	29	572	
31	用明　ようめい	2	丙午	112	15	586	
32	崇峻　すしゅん	5	戊申	110	13	588	
33	推古　すいこ	36	癸丑	105	8	593	
34	舒明　じょめい	13	己丑	69		629	
35	皇極　こうぎょく	3	壬寅	56		642	
36	孝徳　こうとく	10	乙巳	53		645	
37	斉明　さいめい	7	乙卯	43		655	
38	天智　てんじ	10	壬戌	36		662	
39	弘文　こうぶん	0		26		672	
40	天武　てんむ	15	癸酉(二年)	26		672	
41	持統　じとう	11	丁亥	11		687	

*1　各天皇紀のすべてに、元年（天武は二年）の干支と在位年数が記されている。「書紀」編纂者が、時間軸を明確に認識し、帝紀・旧辞等から抽出した事象をその時間軸に位置づけようとしたことが窺える。

*2　空位年数は、前天皇の元年干支と在位年数から計算されるその没年と、次天皇の元年干支とのズレから分かる。安寧、開化、安康、雄略、武烈、安閑、宣化、欽明、用明、崇峻、推古は、即位の翌年が元年となっている。天武は即位の前年が元年となっている。このため即位年(二年）の干支が記されている。天智と持統の在位年数は、称制年数を含む。

*3　旧暦とのズレは無視している。

*4　持統から遡ると安閑元年は534となる。安閑紀では継体は継体二五年に安閑を天皇に立てて没したとあるが、継体紀は継体が没したのは「百済本記」に基づき辛亥（531）とし、これによると継体没後空位が2年あったことになる。継体から欽明までの皇位継承には諸説あるが、ここでは継体没531、安閑元年534としておく。

*5　顕宗紀に、清寧五年正月に清寧が没し、その後11月まで、飯豊青皇女が朝政を執ったと記されている。

*6　仁徳紀に、応神没後仁徳は異母弟で皇太子の菟道稚郎子と皇位継承を譲り合ったと記されている。

*7　神功皇后については、摂政在位について記す。

*8　綏靖紀に、神武没後綏靖は兄及び庶兄と皇位継承を争ったと記されている。